

昭和50年度
(1975)
第15回大会

男子優勝 札幌光星 女子優勝 札幌静修

【 専門委員長 寸評 】

3年に1度札幌以外の地で開催する慣行により、今年度の道大会はまだ参加校の少ない函館地区にお願いした。函館支部ならびに当番校の函館ラ・サール高校、会場校となった函館中部高校の絶大なるご援助のもとに無事終了できたことは喜びにたえない。関係各方面のご好意に感謝の意を表したい。

結果的には、札幌勢が団体、個人単複とも制したが、今年度は小樽勢の進出で苦戦を強いられたようである。とくに個人単、複で2位となった名和（樽潮陵）は2年生であり、男子の佐藤とともに、将来楽しみな選手である。

団体決勝は予想通り光星、札幌の対決となったが、ダブルスに一步の長のある光星が勝ち、勝利をにぎった。光星はうれしい初優勝。

女子はエース大橋を持つ札幌と、全体に粒のそろった静修が激突したが、ダブルスに弱みを持つ札幌はシングルスNo.2に賭けたもののやや練習不足の感の高橋が惜しくも涙をのみ、昨年に引き続き静修の勝利に終わった。

【全国大会】

男子団体の札幌光星の健闘が目立った。1回戦の岐阜商業はいつもAクラスを誇る名門であるが、ダブルスの吉村・矢島が好調で機先を制したのが効を奏し、よくこの大敵を葬ったのは特筆すべきものであった。

女子は決勝まで進出した市邨学園高蔵に初戦から当たったのは不運であったが、実力の差を感じさせた。

団体戦に比べ個人戦は不振であったが、総体的に見ると脚力の不足が指摘される。地域的に見て冬季が使えないというハンディはあるが、それをカバーするためのトレーニングはテニス以外の方法でも行えるはずであるので、研究の上一層精進されることをのぞみたい。

(専門委員長 亀山 省吾)

優勝のよろこび

男子 札幌光星高等学校

高体連誌 記録のみで掲載なし

優勝のよろこび

女子 札幌静修高等学校

高体連誌 記録のみで掲載なし

全国高校総体（第65回全国高等学校庭球選手権大会） 東京

8月24日～30日 神宮外苑テニスクラブコート

男子 個人戦シングルス 優勝 福井 烈（柳川商業）